記入例　　離婚判決文（抄訳文）

判決謄本に記載されてある通りに記入。名はファーストミドルの順。
戸籍と異なったり、ミドルがイニシャルの場合は、下記の通り記入。

Petitioner（原告）
Respondent（被告）

1. 夫の氏名　スティーブンソン（氏）　ジェイコブイー（名）　原告 / 被告

スティーブンソン、ジェイコブイーとスティーブンソン、ジェイコブイーサンは同一人物である。

2. 妻の氏名　スティーブンソン（氏）　翔子（名）　原告 / 被告

スティーブンソン翔子と外務翔子は同一人物である。

3. 離婚判決確定日　2022　年　9　月　26　日（判決文の　2　頁　18　行目に記載）

4. 裁判所名　アメリカ合衆国　フロリダ　州　オレンジ　郡　第9巡回　裁判所

5. 判決文に被告が訴訟の開始に必要な呼び出しもしくは命令の送達（公示送達その他これに類する送達を除く）を受けたことの記載の有無（〇をつける）

1）　有　（無）　2）判決文の　頁　行目に記載されている（ある場合）

6. 上記5. が無の場合、判決文に被告が応訴したことの記載の有無（〇をつける）

1）　有　（無）　2）判決文の　頁　行目に記載されている（ある場合）

5. 6. 共に『無』の場合は、申述書を提出

7. 未成年の子の親権

1）判決文に未成年の子がいるか否かの記載の有無（〇をつける）

（イ）（有）　無　（ロ）判決文の　2　頁　11　行目に記載されている（ある場合）

2）上記未成年の子が日本国籍を所持している場合

☑ 共同親権に服する
（判決文の　2　頁　12　行目に記載）

☐ 夫が親権を行う
（判決文の　　頁　　行目に記載）

☐ 妻が親権を行う
（判決文の　　頁　　行目に記載）

氏名　スティーブンソン　翔太ジェイコブ

スティーブンソン翔太ジェイコブと外務翔太は同一人物である。

氏名

判決謄本に記載されてある通りに記入。
名はファーストミドルの順。戸籍と異なったり、
ミドルがイニシャルの場合は、上記の通り記入

氏名

子により親権者が異なる場合は、夫と妻の欄両方に☑し、子の氏名の横に親権者を明記してください。
（例）外務　太郎（親権者母）
　　外務　花子（親権者父）

氏名

氏名

要訳者の戸籍上の氏名を記入。
届出人本人でも可能。

要訳者　外務　翔子